

## 【第5回みたけ保育園三者懇談会】

◆ 日 時 平成28年9月24日（土） 10時～11時10分

◆ 場 所 みたけ保育園とまと組保育室

◆ 出席者 みたけ保育園保護者 9人

◆ 内容等

保 ⇒ 保護者

法 ⇒ 社会福祉法人岩手県同胞援護会

市 ⇒ 盛岡市

○アンケート結果の説明を行った後の懇談内容は次のとおり。

保 アンケートの質問の中で青山保育園では「お弁当の日」がありますかという質問があるが、民営化されたみたけ保育園でも「お弁当の日」をつくる予定なのでしょうか。

法 基本的には運営費に含まれているので「お弁当の日」を設けるのはどうかというご意見もあると思うが、「お弁当の日」を設けているのは食育計画によるもの。回数ややり方については、保護者の皆様方と協議していかなければならない。年長さんになるとお母さんと作ったりということが結構ある。そういったことから食育のためにも取り入れてもいいのかなと思っている。具体的な回数等は皆様と協議しながら決めていこうと思う。

給食の話については、実は今、青山保育園で働いている栄養士は以前みたけ保育園で働いていた栄養士である。手順が細かいというか、だしを取るにも最初からとったり、つゆだしは使わない。そういったことで一般的にはちょっと味が薄めなのかなと感じられるかもしれませんが、食育のことを考えた給食となっている。新しいみたけ保育園では現在保育園で使っている給食の器材とはまた違った器材を使用する。スチームコンベクションというものはホテルとかでも使っている器材だが、そういったものを新しいみたけ保育園でも導入する予定。

市 現在青山保育園で働いている栄養士の方は、前にみたけ保育園で働いていた栄養士の方なので、引継もスムーズに行えるのではと思っている。

保 食育に関連して。今みたけ保育園では、クラスのみなどとカレーを作ってみたり、焼き芋の時期に焼き芋を焼いてみたりということがありますが、そのようなことはアンケートや懇談等でいろいろ意見を聞いて反映するということか。

法 今おっしゃったカレー作りとか焼き芋会とかは青山保育園でもやっている。これは必要であるというものはどんどん取り入れて、さらに違うものを実施してほしいというのであればご要望していただければと思う。

保 春くらいの三者懇談会で、病児保育用の部屋の話をして、その日突然具合が悪くなった子がその場でお迎えが来るまで休めるお部屋という解釈だったが、アンケートの保護者の意見の中に、普通に病児保育室として利用できるのかということが書いてあった。実施する病児保育の利用基準、どういう子をどういう時間帯で預かる、というのがあれば聞きたい。

法 基本的には発熱している等集団保育できない状態の時に、保健室にベッドを用意しており、看護師を2名配置しているので、迎えが来るまでそこで過ごすという意味合い。

保 地域で利用できる(病児対応型の)病児保育室とは違って、お迎えまでの専用の休めるところということか。

法 そうです。また、体調不良児対応型の病児保育をやるためには、看護師が地域のお母さんたちからの相談にも対応するという業務もある。

法 セキュリティーの問題について。密閉すれば安心ではあるが、反面、保育園は地域に開かれたものでなければならないということもある。今度のみだけ保育園では地域子育て支援センターも実施するので、不特定多数の乳児を抱えた保護者の方がいらっしやるので、カード式とかにすると大変になる。よって、それを全部みられるような形の防犯カメラを5台設置して、セキュリティーについては対応していきたい。

市 最初のころにカードキーみたいなものを導入するという話があったが。

法 そのカードはセキュリティーではなくて、登園・降園するためのカードで、時間チェックを自動的に出来るもの。延長保育料の関係で、時間管理をする。登降園の時間を見ることによって、その家庭の状況がわかるということもあるので、そういったことにも活用できると感じている。

保 ぶどう組(4歳児)で10月から引継保育士が増えるということだが、当初の予定では4月からの方と合わせて2名の引継保育士が入る予定であったのが、1名になり減っていると思うのだが、今後、状況を見て増やすということは考えているのか。4月に先生が変わった時に、子どもたちが慣れた先生しか行かなくて不安な時期があったということも聞いている。来年、年長になったときに担任になるのが1人だけで大丈夫なのか不安だ。

市(園長) 4月からみだけ保育園児の新しい環境に対する慣れ具合等を見てきた中で、ぶどう組のお子さんが新しい環境に不安や戸惑いを示したりして、不安があると保護者からもお聞きしていたし、同じことを担任とも話していた。10月からの職員配置について、どのように考えたらいいかということ園内で色々検討しまして、先生が4月で変わって、10月で変わって、また4月で変わるということになる。その何回もの環境の変化に上手く順応していけるように、今この後半の時期は、まず子どもたちの心を落ち着かせてあげること

が一番かなと思った。そして、この後半、保育の面でも、子どもたちが自分たちの力に自信をつけて、多少の変化には頑張って順応していけるように、子どもたちの心を安定できるように、職員との関わり合いの中でそういう力をつけていきたいと思っている。持ち上がりの職員はもちろん 1 名だが、もう 1 名は園にずっと勤務しておりました非常勤保育士を、子どもたちの気持ちを考えるとクラス付にして、子どもたちが馴染みやすいようにしてあげればいいのかと思って、ぶどう組のクラス担任にした。あともう 1 名の引継保育士さんが入るが、3 名のうちの 1 名だけの新しい配置となれば、子どもたちも落ち着いて、また運動会後に自信のついた言動も見られるので、それを確実に子どもたちの力にしていきたいと思って、このような職員配置を考えた。また、次年度に続く職員配置ということに関しては、先ほど非常勤保育士や臨時保育士が本人の希望により、新しいみたけ保育園への任用もあるという話もあったが、そういうところも含めて、総合的にこの職員配置が子どもたちにとって一番いいと考えた。新しく入られる引継保育士さんたちも皆さんベテランの方で、きっと次年度に向けても子どもとの関わりを大切にしてくださると思うので、もし後半何か不安なことがありましたら、相談していただきたいし、保護者の方からいただいたお話は必ず職員に周知して、特にぶどう組は次年度に向けての保育体制づくりをみんなでやっていきたいと思っている。

保 今の時点で非常勤・臨時保育士でそのまま移る先生は何人くらいいるか。

法 人事のことはまだ詰めてはいないが、少なくとも 9 月末でみたけ保育園の任用が切れる 3 名の方を 10 月から法人で雇うことは決まった。その他にも希望が出ている人たちがいるが、その方たちも原則的には採用したい、そして新しいみたけ保育園で働いていただくことを考えている。

保 今は人事のことなので発表できないけど、来年度のことを考えての配置ということか。

市 そうです。

○【10 月から派遣される保育士 4 名を紹介し、一言ずつあいさつをいただいた。】

○ 今後のスケジュールについて

法 現在、進捗率が大体 20%くらい。基礎の方ができて、今 A 棟の骨組みができてきたところ。

新園舎のイメージ図を配布した。描いてある大型遊具は業者が描いたもので、実際にはできれば木製の大型遊具を入れたいと考えている。植栽についても、これから検討するところ。

畑の用地は確保した。

市 園舎が完成したら、くろいしの保育園の時と同様に保護者の方に新しい園舎をご覧いただく機会を設けたいと考えている。それが見学会として実施するか第 6 回の三者懇談会の会場をそちらとするかはこれから検討する。

○ その他

〔質疑応答〕

保 築山は今の園庭にあるようなものか。表面は土か。

法 それよりは低いと思う。芝をやった方が安全かと思っている。

保 現在のみたけ保育園の駐車場に行くところの(門扉の)鍵が開け辛くなっているが何とかならないか。

市 滑りをよくする油をさしたりして対応する。

保 民営化になるから諦めているということはないか。

市 そういうことはないです。

以 上